

三泉ふくし

令和7年3月5日

第54号

揮毫：渡辺将二

編集発行 三泉地区社会福祉協議会
会長 土田芳昭



人権の花植え
三泉小学校三・四年生

思いやりの心を胸に

心の花を咲かせよう



六月二十五日快晴の下、三泉小学校三・四年生が「人権の花運動」実施しました。
はじめに人権について、人形を使ったお話があり、子ども達は真剣に人を思いやる心を学びました。
つづいてプランターに人権擁護委員の方と一緒に元気にきれいに咲くように願いを込めながら植えました。



きれいに咲き続けますように

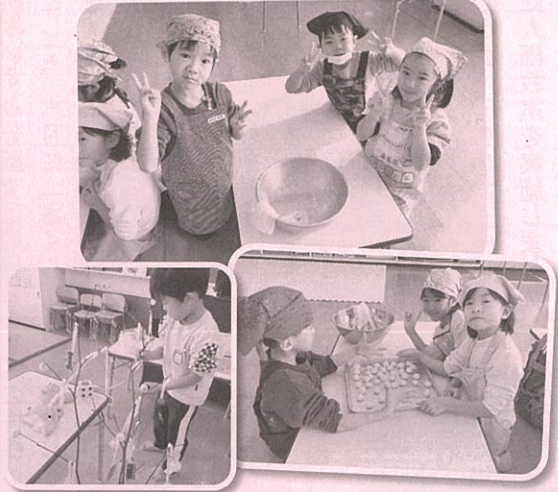


だんご木飾り

なか保育所・三泉分園



「すみれ組 10名」家族みんなが健康で安全に過ごせますように



心を込めて丸めました

一月十日なか保育所・三泉分園（鈴木玲子園長）すみれ組十名は、紅白のだんごを丸め、みず木に飾りました。コロナ禍で今年も世代間交流が出来ませんでした。

健康長寿をめざして

三泉地区社会福祉協議会 会長 土田 芳昭



日頃より三泉地区社会福祉協議会の活動にご理解とご協力をいただいていることに感謝申し上げます。
先日あるテレビ番組で「健康長寿」の秘訣を紹介していました。一〇〇歳前後一〇〇人の取材をもとにした放送でした。三つの秘訣があるという内容でした。一つ目は「食生活」で、野菜やキノコそして発酵食品などをしっかりと取るという事です。二つ目は「運動」で、室内でできる適度な運動やウォーキングなどを毎日続けるのが肝心だそうです。三つ目は「人とのつながり」で、これが「究極の健康法」だということです。先の二つはこれまでも言われていたことですが、三つ目には驚きました。
年を重ねると外に出ることがどうしてもおっくうになりがちです。インフルエンザやコロナ感染の心配などもある。人とのつながりは段々希薄になっていく気がします。そんな中でも友人や趣味の仲間などと積極的に交流することが「健康」づくりにつながるというのです。そう言えば、人と話をすることが認知症の発症を抑えるという聞きかじりの話があります。また、うちの町会に町会内外の人々の集うお宅が何軒もあり、そこに集まる人たちはみなさん元気です。その話題の豊かさには驚くばかりです。「人とのつながり」が「究極の健康法」という一つの事例かもしれません。
私も高齢者の一人ですが、まだまだ健康で過ごしたいものです。「究極の健康法」という「人とのつながり」を意識して生活しようと思っています。

福祉子ども図画展

三泉小学校三年生

ぼくの、わたしの大好きな家族の姿を

東部地区民生児童委員協議会主催、福祉子ども図画展に三泉小学校と西根小学校の三年生が描いた図画作品を十二月十四日～二十二日ハートフルセンター一階ホールに展示されました。
ぼくの、わたしの大好きな家族の姿を生き生きと描いた素晴らしい作品でした。



大江 うた
楽しくピアノ



大場 楓叶
園長先生



菅野 陽葵
形にかこまれた園長先生



日下部 雅
大好きなおじいちゃん



後藤 優菜
台所にいるおばあちゃん



齋藤樹里菜
園長先生とわたし



関根 龍瑚
きれいな園長先生



土田 航大
ドロンを組み立てているおじいちゃん



土田 隼颯
きれいなボールを持ったおじいちゃんとおばあちゃん



土田 楓花
笑顔なおじいちゃん



土田 真弘
そうじをしているおばあちゃん



橋間 望叶
料理をしているおばあちゃん



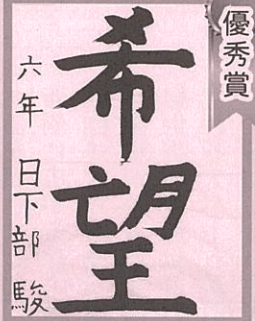
渡邊 凜士
剣道会長おじいちゃん

人権書道教室と寒河江市内小学校書道展

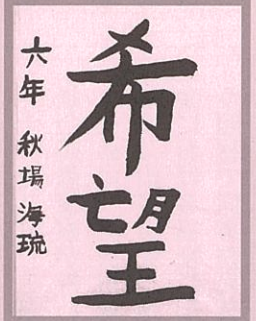
三泉小学校六年生

寒河江西村山地区人権書道コンテストに向けて六年生の人権書道の練習会が七月十一日と十八日に行われました。とても真剣に取り組み力強く書くことができました。審査の結果六年生の日下部駿さんが寒河江人権協議会より優秀賞で表彰されました。
十二月七日～十七日まで寒河江市内小学校の書道展がフौरラSAGAEで開催されました。

優秀賞



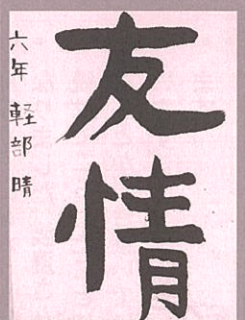
日下部 駿



秋場 海琉



片桐 心結



軽部 晴



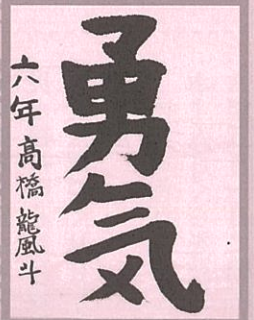
後藤 琉生



後藤 結愛



齋藤 雪恵



高橋 龍風斗

人権擁護委員を務めて



渡邊 一博

教職員としてこれまで三十八年間勤め地元の方々と触れ合うことが少なかつたように思います。退職後は、人権擁護委員として三泉社会福祉協議会委員の一員となりました。地区の皆様のご協力を得て何とか十五年間務めることが出来ました。

◆これまでの活動を振り返って
なか保育所みいずみ分園では地域間交流事業として、六月に「さくらんぼ狩り」を実施しました。真つ赤に熟したさくらんぼをひとつひとつ丁寧に熟したさくらんぼをひとつひとつ丁寧に、園児と一緒に楽しみました。十月は「さつまいも掘り」です。デッキイさつまいもを掘りホツカホツカ美味いさつまいもを頂きました。一月の小正月には「だんご木飾り」です。ミズキの木に紅白の団子を園児の健康と健やかな成長を願ひ飾りました。

三泉小学校では、五月には三・四年生を対象に人権教室を実施しました。
子ども達からは「人権とは家族と一緒に幸せに暮らすこと」「思いやりの心で友達と仲良く遊ぶこと」と感想を述べてくれ、その事が頭に残つ

ております。次にプランターに花を植えました。一つ一つの花にも命があるので元気にきれいに咲くように願ひながら植えました。

七月には六年生を対象に寒河江西村山人権書道コンテストに向けて「人権書道教室」を実施しました。力強く伸び伸びと書くことが出来ました。

『三泉ふくし』便り担当として地区内の様々な方と一緒に交流を深められることが最高の思い出になりました。

これからの三泉地区の子供達と地区の皆様が健やかに暮らせるように願っております。
ありがとうございました。

福祉研修会

八月二十九日、下河原高齢者若者センターにて講師に「つながる企画



委員会」の方四名に来ていただきカードゲーム形式で会話をし介護準備を考えると研修を行いました。各班で楽しく意見交換しながら介護について議論しました。

研修視察報告

十一月八日、三泉地区社会福祉協議会研修視察が行われました。

初めに、山形市総合福祉センターにて『山形市第十地区社会福祉協議会における福祉活動について』という題材で同事務局長の門脇徹氏よりお話を頂きました。同地区は山形駅西側に広がる住宅街で、十二町内会、約四千二百世帯で構成されており、高齢化が進み単身高齢者、高齢者夫婦世帯が増加している。新しく建設されるアパートが増え町内会、社協等に参加しない住民が増えているなどの課題がある。その中で、できる活動はみんなが役割を持つて参加し、集まらな人こそ積極的に声掛けや訪問をし、挨拶や会話を多くして、



安否確認や雪かき支援などをして防災と福祉の心を日常にという考えのもとに街づくりをしているとのことでした。

次に寒河江にもどり特別養護老人ホームさくらを訪問しました。令和六年五月一日に開所したばかりの明るい施設でした。寒河江市民の為に地域密着型特老で現在全二十九床は満床、待機者を募集中でした。



編集後記

渡邊一博さんの退任に伴い、今年度から三泉ふくし担当も後任になりました。渡邊さんが十五年も続けてこられたことに敬意を表し、なんとか引き継いでいければと思います。どうぞよろしくお願ひします。
(土田亨淳)